

MRI 検査の問診を行うための参考資料

検査当日にも、当院職員にて再度問診を実施いたします。事前の予備問診とお考えください。

○ MRI 検査 禁忌項目

心臓ペースメーカー、除細動器、人工内耳、神経刺激装置、骨成長刺激装置
金属製の心臓人工弁、妊娠（可能性がある方）、強度の閉所恐怖症等

○ MRI 検査ができない可能性がある項目

脳動脈瘤クリップ： 最近のものであればMRI対応なので、まず問題はないと思われます。古いものに関しては、素材の確認が必要です。

手術等による体内金属： 金属コイルはプラチナ製であれば、問題はありません。心臓ステントは、2か月経過していれば検査可能です。人工関節・人工骨頭は、チタンやセラミック製であれば検査可能です。歯科矯正金具についても同様です。その他の金属については、熱感や引きよせられる等があれば中止する必要がある事を伝え、同意していただければ検査を行います。

歯科のインプラント： 磁石で脱着するものは、検査ができません。最近のもので、チタン製であれば検査可能です。

義歯（入れ歯）と義眼： 磁石で脱着するものは、検査ができません。それ以外であれば、検査時に取り外してもらいます。

刺青・アートメイク： 火傷や絵が崩れる可能性があります。同意していただければ検査を行います。

眼内の金属異物： 鉄片等が残存する場合は、失明のおそれがあるので検査できない可能性があります。

研磨・金属加工業の経験ある方： 研磨・金属加工業の経験ある方：撮影部位以外でも鉄片等がある場合は、注意が必要です。

ご不明な点やお問い合わせは・・・

八尾市立病院 地域医療連携室

TEL：072-922-0887（直通）